



「地域との繋がり」 ～『寂しい』という嬉しい一本の電話から～

6月2日付けの秋田さきがけ新聞に、道川分教室閉室に関する記事が掲載されました。

次の日、「新聞記事を読みました」という地域の方から連絡をいただきました。

『地域の図書館等に展示される生徒の作品（ミニ学校展）を、すごいな、と思いながらいつも見てきました。これからも続けますか。』『（記事で閉室を知って）寂しいな、と思っています。』

コロナ禍により、地域等と直接関わる機会が少なくなってきている中ではありますが、この一本の連絡により、確かに地域と繋がってきた学校（分教室）なんだな、ということを実感し嬉しい気持ちになりました。

「道川分教室まつり（現 学習発表会）」「地域の小学校との交流及び共同学習」「地域のボランティア団体の方々をゲストティーチャーに招いた学習」「地域をフィールドとした校外学習「ミニ学校展」・・・

これまでの、地域との関わりを大切にした教育活動の積み重ねと、地域の方々の優しさにより、確かな「繋がり」が形づくられてきたのだと思っています。

地域に感謝し、これからも地域と共にある学校（分教室）で在ることを願いつつ・・・



【道川分教室が入る

国立病院機構あきた病院】



【H16（秋田養護学校）道川分教室開設】



【H27岩城小学校との交流及び共同学習】



【H26道川分教室まつりのチラシ配り】
～地域の方へ～



【H26日本民謡「梅若会」の皆さんを招いて】



【H30道川海岸への校外学習】



【R3岩城図書館でのミニ学校展】